

首都高速道路株式会社の第16期決算について

首都高速道路株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮田 年耕）の令和3年3月期決算について、別添のとおりお知らせします。

【今回の決算（連結）の概要】

1. 高速道路事業において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛要請等の影響により、料金収入は2,358億円（前年比277億円減）、道路資産完成高を含めた営業収益は3,471億円（前年比1,511億円減）となりました。また、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に支払う道路資産賃借料は、変動貸付料制度※の適用等により1,597億円（前年比304億円減）、道路資産完成原価を含めた営業費用は3,512億円（前年比1,465億円減）となりました。この結果、営業損失は40億円（前年比46億円減益）となりました。
2. 関連事業において、前期に横浜環状北西線の受託事業が完了したこと等により、営業収益は110億円（前年比259億円減）、営業費用は100億円（前年比255億円減）となり、営業利益は9億円（前年比3億円減益）となりました。
3. 上記より第16期決算において、45億円の純損失（前年比44億円減益）となりました。

※ 変動貸付料制度とは、計画料金収入対比で実績料金収入が±1%を超えて変動した場合、機構に支払う道路資産貸付料を変動させる制度。増収時は債務返済に還元することにより償還確実性を向上させ、減収時には会社の経営の不安定化を回避することを目的とする。

◇添付資料

- ・決算説明会資料
- ・令和3年3月期決算情報
- ・第16期連結・個別財務諸表

なお、当社の有価証券報告書は令和3年6月25日に関東財務局長へ提出予定です。